

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮プランクトン調査の結果、カレニア ミキモトイ及びカレニア パピリオナセアがそれぞれ最大で1細胞 /mL確認されました。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大で1細胞 /mL確認されました。

今後とも海色等には注意してください。

※（本日は、海水 1mL でプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (10:30~12:10) 採集地点	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	溶存 酸素 (mg/L)	コクロディニウム ポリクリコイデス *1	カレニア ミキモトイ *1	カレニア パピリオナセア *1	アレキサンドリ ウム属 *3	ギムノディニウ ム カタナータム *3
藻津 下図① 10:14 透明度:6.9m	0	27.5	21.6	8.08	-	-	-	-	-
	5	27.4	33.1	6.47	-	-	-	-	-
	10	26.9	33.1	6.50	-	-	-	-	-
宿毛湾中央 下図② 10:27 透明度:11.0m	0	27.1	19.4	7.92	0	0	0	0	0
	5	27.7	33.1	6.50	0	0	0	0	0
	10	27.3	33.2	6.39	0	0	0	0	0
シラハエ 下図③ 10:45 透明度:7.0m	0	27.8	23.5	8.44	0	1	0	0	0
	5	27.8	32.9	6.54	0	0	0	0	0
	10	27.6	33.1	6.49	0	0	0	0	0
猩々箸 下図④ 11:03 透明度:7.0m	0	27.6	22.4	8.49	0	0	0	0	0
	5	27.7	32.9	6.82	0	1	0	0	0
	10	27.6	33.0	6.72	0	0	0	0	0
栄喜 下図⑤ 11:09	1	-	-	-	0	0	1	1	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*1：魚類を死滅させるおそれがある種

(細胞/mL)

*3：麻痺性貝毒の原因種

調査時間 (10:30~12:10) 採集地点	水深	水温	塩分	溶存 酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	カレニア ミキモトイ	カレニア バピリオナセア	アレキサンドリ ウム属	ギムノディニウ ム カタナータム
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*1	*1	*3	*3
青瀬山 下図⑥ 11:06	0	-	-	-	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒロウラ 下図⑦ 11:29 透明度:6.0m	0	27.2	23.9	7.99	0	0	0	0	0
	5	27.7	32.6	6.97	0	0	0	0	0
	10	27.7	32.7	6.93	0	0	0	0	0

*1: 魚類を死滅させるおそれがある種

(細胞/mL)

*3: 麻痺性貝毒の原因種

※ 魚類を死滅させるおそれがある種の注意報及び警報値

プランクトン種	注意報	警報	数値の参考県
コクロディニウム ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府
カレニア ミキモトイ	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府
シャトネラ属	10 細胞/mL	100 細胞/mL	大阪府

〈下図〉

